

令和4年度（第37回）
労働安全衛生・交通安全に関する
標語・論文・ポスター 入賞者 （敬称略）

【標語の部】（応募総数：13社85点）

ページ

金	金賞	(株)静岡建物サービス	今野 満雄	4
銀	銀賞	(株)共同	山田 久美子	4
銅	銅賞	(株)メンテックカンザイ	中島 靖暢	4
	佳作	(株)東静岡ビルサービス	鹿島 俊暢	5
	佳作	ヤマダユニア(株)	内田 里美	5
	佳作	(株)サン	北川 友彦	5
	佳作	東海ビル管理(株)	小鷹 亙	5
	佳作	(株)セイセイサーバー	佐藤 勝義	5
	佳作	(株)レンティック中部	竹内 広宣	5
	佳作	太平ビルサービス(株)	鈴木 秋乃	5

【論文の部】（応募総数：8社16点）

ページ

金	金賞	(株)メンテックカンザイ	鈴木 博恵	6
銀	銀賞	東海ビル管理(株)	西藤 正江	7
銅	銅賞	(株)サン	小林 弘二	8
	佳作	(株)静岡建物サービス	猪瀬 友季子	9

【ポスターの部】（応募総数：5社16点）

ページ

金	金賞	(株)サン	佐藤 香織	10
銀	銀賞	東海ビル管理(株)	西藤 正江	11
銅	銅賞	(株)サン	及川 紗里	12
	佳作	(株)静岡セイコー	小池 三恵子	13

標語の部

金賞

気を付けよう!! 荒い言葉と
粗雑な態度

(株)静岡建物サービス 今野 満雄

銀賞

ゼロ災害 慣れと油断は禁物だ
事故の備えに妥協なし

(株)共同 山田 久美子

銅賞

進んで取ろう 男の育休
仕事の鬼から 優しいパパへ

(株)メンテックカンザイ 中島 靖暢

佳作

迷ったら 転ばぬ先の 報連相

(株)東静岡ビルサービス 鹿島 俊暢

すれ違い お先にどうぞ 待つゆとり

ヤマダユニア(株) 内田 里美

安全は 一人一人の心掛け 皆で作る笑顔の職場

(株)サン 北川 友彦

手を抜くな 始業前の準備と点検

東海ビル管理(株) 小鷹 互

やめとこう!! ハンドル・ケータイ ニ刀流

(株)セイセイサーバー 佐藤 勝義

広げよう 心の余裕と 車間距離

(株)レンティック中部 竹内 広宣

「ありがとう」 その一言が 「和」 を作る

太平ビルサービス(株) 鈴木 秋乃

職場での健康保持増進のための具体例等

(株)メンテックカンザイ 鈴木 博恵

さて、スノーボール・モデルという言葉をご存知だろうか。これは、心理学用語の一つである。主に、医療現場で唱えられるものであり、小さなミスが更なるミスと呼ばび、最終的に大きなミスとなることをスノーボール、すなわち雪だるまに準えた考え方である。

健康増進という分野には、保健指導や栄養指導が含まれるが、オフィスビルの一清掃員である私は、また別の視点で考えてみたい。健康保持増進のための実践例としては、大きく二つ挙げられる。

一つは、作業環境の適正化である。平たく表現するなら危険予知と言われて久しいものだ。私の職場の平均年齢は、およそ七十歳と聞いている。それより遥かに若い私だが、こうした環境においては、私自身が安全であるかということにとどまらず、広く不安全の可能性を捉えなければいけない。具体的には、資機材によって狭くなった通路、何かの拍子に落ちそうなものや落ちているもの、通行の動線に横断する配線、目線より高所に位置する薬品など、改善の余地は意外と多い。すぐに改善できるところは対処し、それ以外は責任者等に報告することで措置を施している。また、物的環境が整備されれば危険要素が全て排除できるかと言えばそうでもない。前述のとおり、従業員の多くは高齢者であり、素早い行動が困難だ。無論、急かすつもりは毛頭ないが、私の行動によって焦る可能性も否めない。これは、スノーボールの加速を意味する。私自身の

事故防止のためにも時間に余裕をもった行動を心がけているが、焦らず且つ、焦らせないことが互いの健康保持増進に資するものと認識している。

健康保持増進のために行っているもう一つのことは、ストレスをためないことである。ストレスが万病のもとであることは周知の事実である。しかし、これがなかなか容易でない。まずは、職場の人間関係を良好に保つ。そして、問題は長引かせないようにする。それから、勤務時間外には心理的にも仕事のことから離れ、考えすぎない。言うは易しとはこのことだが、これが最善策である。また、ある研究によれば、職場以外の人間関係が充実することで心理的距離(仕事のことを考えないこと)を高め、ストレスフルな状態から回復する役割を果たす結果を示している。すなわち、職場において良好な心身を維持するためには、それ以外の時間の充実が図られることが望ましいと換言できる。

健康保持増進というと、運動をして体力アップに努めるイメージが先行してしまう。もちろん、筋力の増強も健康の一部を担うものだ。しかし、職場における健康保持増進という分野においては、安全を顧慮、前提とした精神衛生の確保が第一義的であると考ええる。そして、それは壮大な概念ではなく、挨拶を交わし、他愛もない話から相手のストレスに寄り添う「配慮」の集まりと言えるだろう。

誘惑お化けには負けないぞ

東海ビル管理(株)

西藤 正江

毎日毎日、施設管理は原状復帰することが大事なお仕事です。次に使ってくださいの方が気持ちよく安全に使えるように元の状態に戻します。ところがマニュアル通りに仕事をしていたはずなのに、事故が発生することがあります。

さて、お仕事を任されたとき、あなたはどのように行動していますか？言われたことを言われるままに、やるだけですか？それとも作業の一つ一つに何か意味があるのか考えながら、ひとつひとつの作業について理解し納得して仕事をしますか？

仕事のマニュアルをつくるときは、工程の一つ一つを分解し、どうすれば簡単にできて作業効率を上げることができるのか、また安全に対応できるのか考えながら作っていくものです。作業する方が、理解しやすいようにまた安全に仕事ができるように労災などの発生がないように、マニュアルの制作担当は、俯瞰して全体を眺めトライ＆エラーを繰り返し、完成させています。本来、マニュアル通りに事を進めていけば、事故は起こらないはずなのです。

では、なぜ事故などが起きてしまうのでしょうか？

理由として、「つい、うっかりいつもの手順でしなかった」「大丈夫だろうと思って、確認を怠った」「体調が悪かったけど無理をした」起こってしまった後に出てくるこういう言葉をよく聞きます。

“慣れ”からくる油断と“大丈夫だろう”というあなたの“誘惑お化け”が、一日くらい手を抜いても大丈夫だよ、とあなたを誘惑しているようです。

そしてこのお化け、“違和感”という異常に目を向ける邪魔をします。特に、一つの事象しか見ることができていない場合に現れやすい性質で、あなたを“失敗”へと誘いこむのが好きです。“この些細な事”をちょっと見逃しても、大局は変わらないだろうと甘く囁きます。

それが原因で失敗したときには、他人事のようにニヤニヤ上の方で見ているだけという厄介者です。

では、この“誘惑お化け”に負けない方法はあるのでしょうか？私はこう考えます。

- ① マニュアルを熟知すること
- ② マニュアル通りに動けるようになること
- ③ そしてその上で作業の工程の効率化を自分でも改めて考えること

全体を把握して、俯瞰して見られるようになることで、“誘惑お化け”は、あなたに近づけなくなるはずです。同時に、異常に素早く気付くことができる能力にも繋がるはずです。

少し仕事への取り組み方を変えてみませんか？問題意識を持つこと、それがやはり、皆の安全を守ることになるのではないかと思います。

日々の活動における注意と心がけ

(株)サン

小林 弘二

私は大型商業施設で設備関係の仕事をしています。仕事内容は建物の設備、機器の維持・管理です。巡回しながら機器の点検や動作確認、メーターなど定期的に検針、レポート作成です。

防災センターの部署で、警備と一緒に仕事をしています。警備が巡回で不在の時や休憩時間に、代わりに窓口に立ち、警備の補助をします。従業員や出入業者の入退館のチェックをしています。また、トラックや納入業者の車の出入りの監視をしています。

先日、このような事故がありました。

台車が動いて、台車と一緒に荷物が下に落ちてしまう事故がありました。

納入業者はトラックヤードに車を止めて、荷物を降ろし、荷捌き場所にて台車に乗せ店内に運びます。

車から荷物を降ろし荷捌き場所の台車に乗せ、また車から荷物を降ろしている時、台車が勝手に動いてしまい、荷物（ラーメン用の麺）といっしょに80cm下の地面に落ちてしまいました。もちろん荷物はバラバラになり、納品できる状態ではありませんでした。

荷捌き場所は水平で傾きはありませんが、ちょっとした事で動いてしまうことがあります。過去にも台車が動いて下に落ちたことがありました。また、落ちそうになったことも数回ありました。

運送専門の業者や、いつも出入りしている業者は慣れているので心配していませんが、初めてくる人や、時々来る業者、ここの店員が台車を持って受取りに来る場合などは、気になっていました。

最近の台車にはストッパー機能の付いているものがあります。あっても使わない人や、[台車が動く可能性がある]との認識不足・注意不足の人が多くのように思われます。

自分が見ている時は、「台車が動くことがあるかも知れないよ！」など注意と声掛けしています。

防災センターの警備・設備のスタッフにも今回の事故の話をしました。荷捌き場所の台車が動いて下に落ちないように、注視してもらうようにしています。

管理会社には、「台車が動くことがあります」と貼り紙を依頼することもあります。

日々の活動の中で、ちょっとした事や、注意点・問題点・疑問点など、いろいろとあると思います。ぼーっとして無意識に無関心である自分には反省点です。

常にいろいろな情報や気付いたことなど、視野に入れて、これからの活動に活かしていきたいと思っています。

行動に移すその前に

(株)静岡建物サービス 猪瀬 友季子

日々の生活の中で、少し不安に感じたり、疑問に思ったりすることがあった時、警戒や確認をせずに「なんとかなるだろう」「大丈夫だろう」という思い込みをして、失敗した経験はありませんか？

例としてあげるならば、一時停止や左右確認をしなくても「大丈夫だろう」と考えて行動したら、車や自転車が飛び出してきて危うくぶつかりそうになった、もしくは衝突してしまったという事例が一般的に多いのではないのでしょうか。人はごくたまに「いつも通っている道だから事故はしないだろう」などと根拠のない無意識な自信から危険な行動をとってしまうことがあると思いますが、いつも通っている道だから事故をしないとは限りません。極端な話をすると、いつ・誰が・どこで・どんな行動をするかは予測がつかないものです。屋外に限らず、屋内でも同様のことが言えます。「なんとかなるだろう」「大丈夫だろう」という考えが時には必要な場面もあるかもしれませんが、外出中や勤務中など何か行動している時には、「危ないかもしれない」「確認すべき」といった危険察知の意識を優先させる

べきではないかと思います。確認や点検を重ねることで防げている事故や問題もきっとあるはずです。

「もっとしっかり確認をしてよく考えて決断していたら、違う結果になっていたはずなのに」と感じる事例として記憶に新しい事故は、知床の遊覧船沈没事故です。事務所のアンテナが故障しており、衛星電話が使用できなかったり、無線も使用できる状態ではなくて、さらには、波が荒れだすことまで事前に情報が得られたはずにも関わらず出港し、沈没。船員・乗客全員が死亡するという最悪の結果となってしまいました。今挙げた全ての原因は、事前確認の徹底不足および情報集約・共有不足における管理不行き届きからくる判断ミスではないのでしょうか。他人の命を預かる仕事であるという認識をもっと強く持っていてほしかったと言わざるを得ません。

日常の中で危険は至る所に潜っており、「だろう」という思い込みは、一步間違えたら、最悪の結果になる可能性があります。一人ひとりがそのことを少しでも意識して行動すれば、事故は減らすことができるのではないのでしょうか。

金賞

(株)サン

佐藤 香織



銀賞

東海ビル管理(株)

西藤 正江



銅賞

(株)サン

及川 紗里



佳作

(株)静岡セイコー

小池 三恵子

